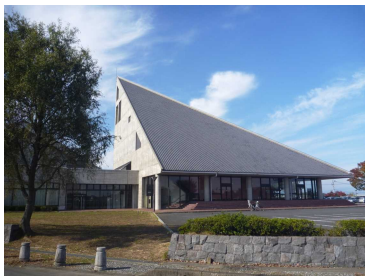
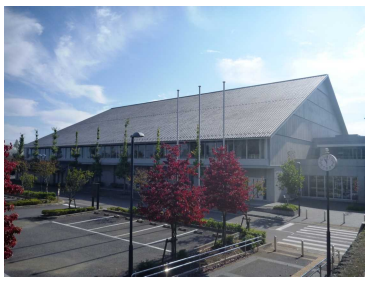
本庄市公共施設マネジメント白書

概要版

※写真は、左上より、図書館、市役所、市民文化会館、本庄総合公園体育館（シルクドーム）、児玉文化会館（セルディ）、児玉総合公園体育館（エコーピア）。

平成 26 年 3 月

本　　庄　　市

はじめに

平成１８年１月１０日に旧本庄市と旧児玉町の合併により「新本庄市」が誕生しました。新本庄市発足により、旧市町でそれぞれに整備を進めてきた公共施設を数多く保有することになり、施設機能の重複や偏りが見受けられます。また、建築後３０年以上を経過した公共施設が半数を超えていることから、近年、老朽化が進行し維持管理にかかる費用も増加傾向にあり、今後、その老朽化がさらに進展し、公共施設の多くが大規模な改修や更新時期を迎え、市の財政にとって大きな負担となっていくことが予想されます。

一方で、近年、人口減少や少子高齢化が進み、税収の減や扶助費の増大など、厳しさの続く財政状況下において、現在の公共施設の全てを維持し続けることは困難な状況であり、施設の総量を抑制していくことは避けて通れない状況にあります。

こうした様々な状況を踏まえ、市が所有する施設の現状について、分析を行うとともに課題を整理し、本庄市総合振興計画後期基本計画（平成 25 年 3 月策定）に掲げる重点的な取り組みの一つである「公共施設の適正な配置」について、市民の皆様と共に考えるための基礎資料として、この「公共施設マネジメント白書」を作成しました。

今後は、この公共施設マネジメント白書をもとに、将来にわたって維持可能な施設の規模を定め、施設を通じた行政サービスの維持・向上のための最適な施設配置や効率的な管理運営の指針となる公共施設再配置計画を策定していく予定です。

皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成２６年３月　　本庄市長　吉田信解

【目　　次】

1.　本庄市の概況・特性 1
(1) 人口・世帯数等の推移 1
(2) 将来人口の見通し 1
(3) 市の財政状況 2
2.　本庄市の公共施設の概況 3
(1) 対象施設 3
(2) 施設の立地状況 4
(3) 施設の老朽化の状況 6
(4) 施設の利用状況 6
(5) 施設の維持管理・運営の状況 7
(6) 管理運営主体（指定管理者制度の導入状況） 7
(7) 低・未利用地の状況 7
3.　施設の実態把握・分析 8
(1) 施設種別の実態把握・分析 8
(2) 地域別の実態把握・分析 14
(3) 施設の将来的な維持・更新に係る見通し 19
4.　公共施設の課題と今後のあり方 20
(1) 公共施設の課題と改善の方向性 20
(2) 今後の取り組み 21

1. 本庄市の概況・特性

(1)人口･世帯数等の推移

- 総人口（住民基本台帳人口）は、昭和 43 年の 63, 857 人から増加が続き、平成 13 年の 81, 178 人（平成 13 年４月１日現在）をピークに近年は減少が続いており、平成 25 年には 78, 086 人（平成 13 年から 3, 092 人の減少）となっています。
- 世帯数は、昭和 43 年から平成 25 年で約２倍に増加しています。
- 年齢別人口（国勢調査人口）の推移（平成２年から平成 22 年）では、年少人口（０～14 歳）が約３割減少し、老年人口（65 歳以上）が約２倍に増加しています。

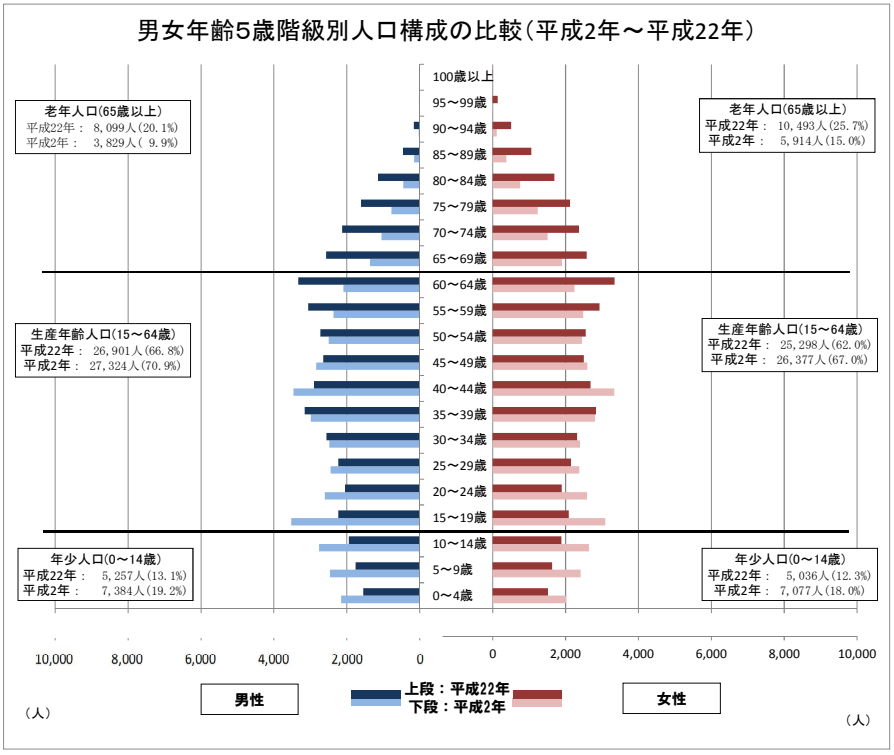
＜人口・世帯数の推移＞

	人口	世帯数
昭和 43 年	63, 857	15, 507
平成 13 年	81, 178	28, 220
平成 25 年	78, 086	31, 544

※住民基本台帳人口（外国人登録を含みません）。

※基準日について、昭和 43 年は２月 29 日、平成 25 年は４月１日。

※昭和 43 年の人口・世帯数は、旧本庄市と旧児玉町の合計。

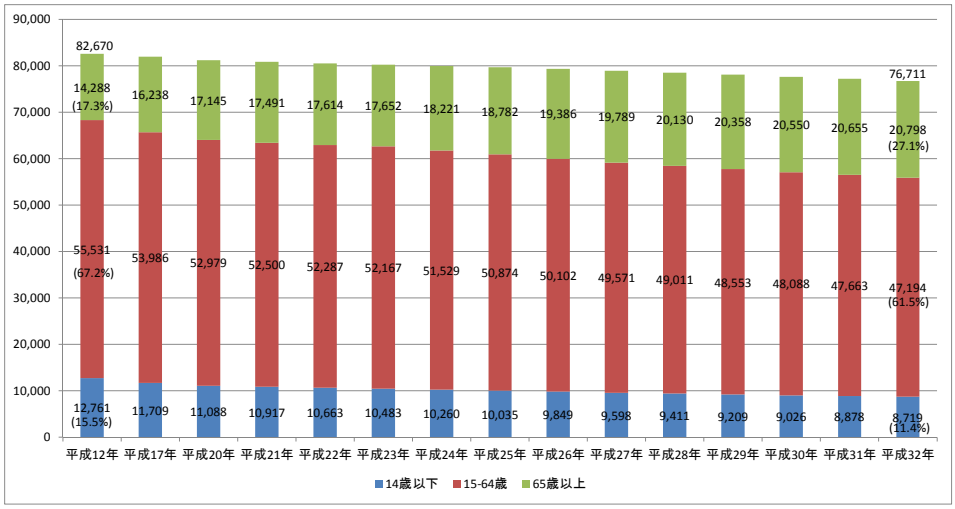


※国勢調査人口。

(2)将来人口の見通し

- 本庄市の人口（国勢調査人口）は、近年より人口減少が始まっており、平成 32 年には 76, 711 人（平成 12 年より約７％減）となり、年少人口（０～14 歳）の減少や老年人口（65 歳以上）の増加が予想されています。

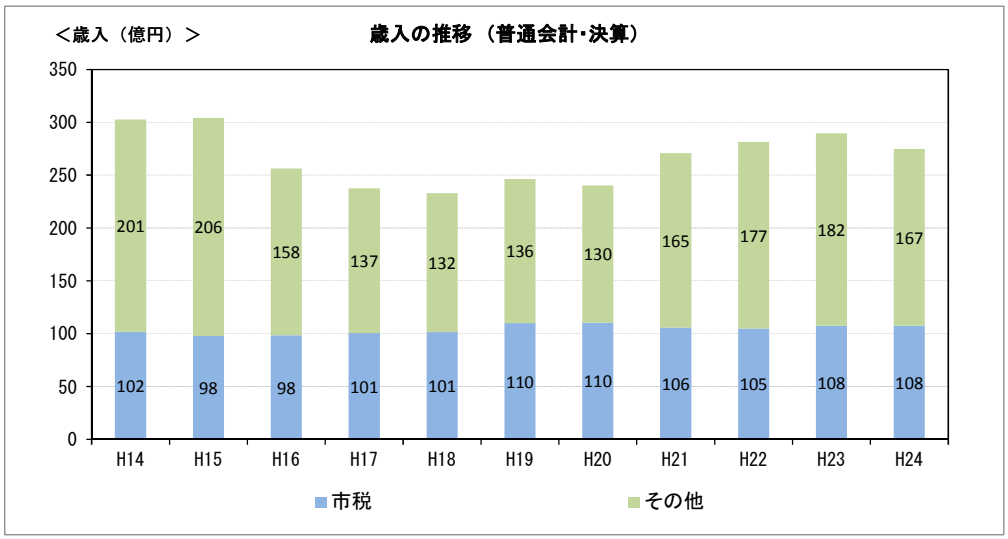
＜コーホート法による将来人口の推計＞

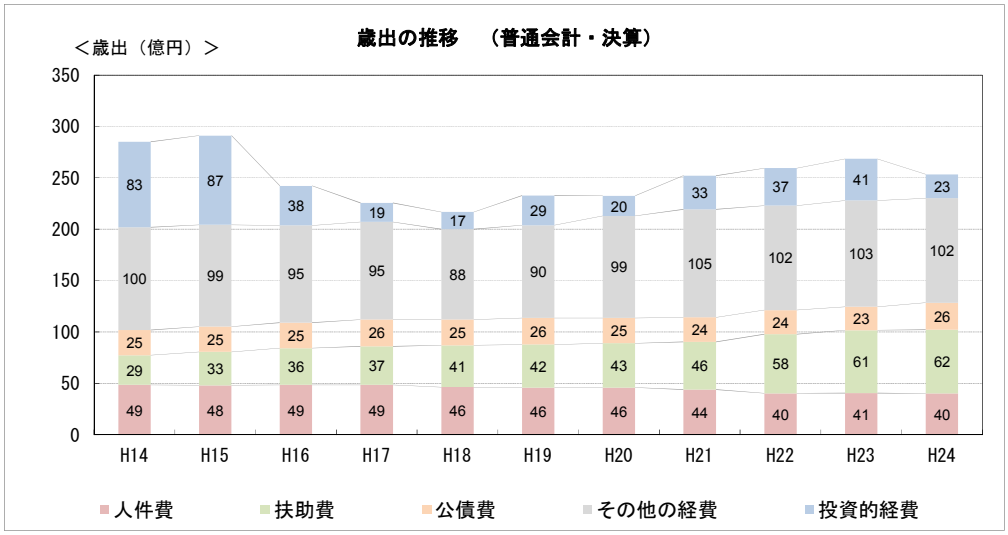


※平成 12 年、17 年は国勢調査人口（平成 17 年は年齢不詳者 24 人を除きます）。

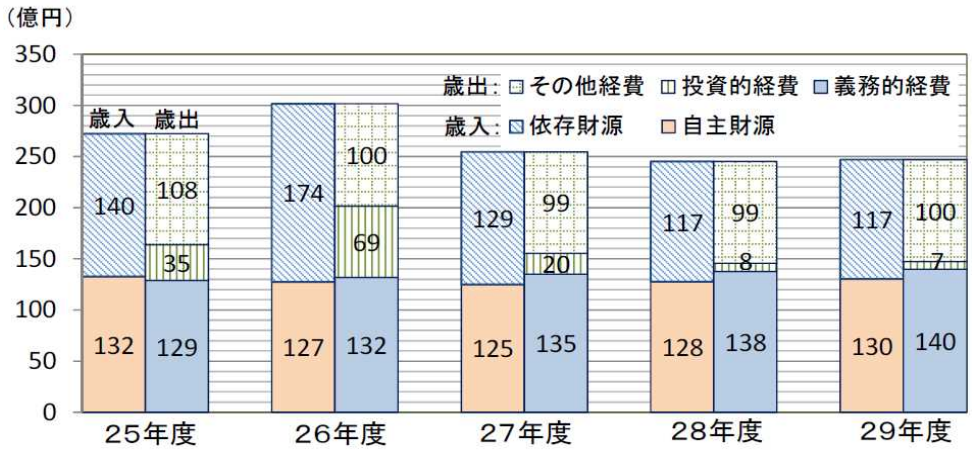
(3)市の財政状況

- 財政状況（普通会計[決算]）は、年間約 230 億円～約 300 億円で推移しています。
- 歳出については、義務的経費の扶助費（生活保護費や児童手当、小児医療費助成、就学援助費等の社会保障関係費）が年々増え続けています。
- 投資的経費（公共施設の建設や土地購入などに係る経費）も、歳入と同様に合併以降は増加傾向が見られるものの、平成 24 年度では平成 14 年度の約 3 割となっています。
- 中期財政収支見通しでは、投資的経費は平成 26 年度をピークに大きく減少しています。また、義務的経費（扶助費・公債費等）の増加に伴い、平成 28 年度には財政調整基金を取り崩さざるを得ない見込みとなっています。





＜中期財政収支見通し（平成 25 年度～平成 29 年度＞



2.　本庄市の公共施設の概況

(1)対象施設

- 主に本庄市が建設した建築物の 116 施設（下表参照）を対象とします。

施設番号	対象施設	所在地	竣工年月	延床面積(㎡)	備考
1-1	中央公民館	本庄市北堀1422	昭和50年10月	1,860	
1-2	児玉中央公民館	本庄市児玉町金屋728－2	平成7年10月	1,110	複合施設(1-2、3-2、6-2)
1-3	本庄公民館	本庄市東台5－2－33	昭和57年3月	368	
1-4	本庄東公民館	本庄市日の出2－8－28	平成2年3月	450	
1-5	本庄西公民館	本庄市小島1－10－4	昭和63年3月	419	
1-6	本庄南公民館	本庄市今井377－2	平成元年3月	508	
1-7	藤田公民館	本庄市牧西1210－3	昭和57年7月	399	
1-8	仁手公民館	本庄市仁手665－1	昭和56年3月	369	
1-9	旭公民館	本庄市都島238－1	昭和55年3月	383	
1-10	北泉公民館	本庄市早稲田の杜5－12－29	昭和54年8月	379	
1-11	児玉公民館	本庄市児玉町児玉2510－1	昭和39年2月	569	
1-12	共和公民館	本庄市児玉町蛭川915－5	昭和54年3月	402	
1-13	児玉公民館別館	本庄市児玉町児玉1352－1	昭和46年3月	327	
2-1	コミュニティセンター	本庄市駅南1－13－12	昭和55年3月	1,081	
2-2	勤労青少年ホーム	本庄市小島南1－8－2	昭和45年3月	624	
2-3	いまい台交流センター	本庄市いまい台2－43	平成12年8月	653	
2-4	あさひ多目的研修センター	本庄市沼和田1005	昭和60年3月	350	
3-1	市民文化会館	本庄市北堀1422－3	昭和55年11月	5,716	
3-2	児玉文化会館(セルディ)	本庄市児玉町金屋728－2	平成7年10月	3,158	複合施設(1-2、3-2、6-2)
4-1	市民体育館	本庄市小島南1－8－3	昭和54年3月	2,452	
4-2	若泉運動公園弓道場	本庄市小島6－11－14	昭和56年3月	256	
4-3	若泉運動公園武道館	本庄市小島6－11－14	昭和61年3月	1,236	
4-4	市民球場	本庄市北堀433	平成6年3月	1,176	
4-5	本庄総合公園体育館(シルクドーム)	本庄市北堀433	平成13年12月	7,521	
4-6	児玉総合公園体育館(エコーピア)	本庄市児玉町金屋753－1	平成15年4月	4,439	
5-1	観光農業センター	本庄市児玉町小平653	平成3年12月	248	
5-2	ふれあいの里いずみ亭	本庄市児玉町河内209－1	平成16年1月	249	
5-3	インフォメーションセンター	本庄市駅南2－1－4	平成7年8月	318	複合施設(5-3、15-3)
6-1	図書館	本庄市千代田4－1－9	昭和56年7月	2,599	
6-2	図書館児玉分館	本庄市児玉町金屋728－2	平成7年10月	409	複合施設(1-2、3-2、6-2)
7-1	歴史民俗資料館	本庄市中央1－2－3	明治16年10月	368	
7-2	競進社模範蚕室	本庄市児玉町児玉2514	明治27年10月	176	
7-3	塙保己一記念館	本庄市児玉町八幡山446	昭和43年4月	166	
7-4	埋蔵文化財センター	本庄市牧西1137－3	昭和28年5月	414	
7-5	旭民具等収蔵庫	本庄市都島904－1	平成元年9月	334	
7-6	北泉小学校郷土資料室	本庄市北堀1871－1 北泉小学校内一部教室を使用	昭和49年3月	63	
7-7	児玉郷土資料室	本庄市児玉町児玉2510－1 (児玉公民館2階)	昭和39年2月	－	
7-8	児玉文化財整理室	本庄市児玉町児玉1352－1 (児玉公民館別館内)	昭和46年3月	－	
7-9	太駄文化財収蔵庫	本庄市児玉町太駄352	平成14年4月	116	
7-10	本泉文化財収蔵庫	本庄市児玉町河内565－8	昭和54年	429	
7-11	蛭川文化財整理室・収蔵庫	本庄市児玉町蛭川915－12	平成7年	302	
7-12	共和文化財倉庫	本庄市児玉町蛭川915－5	昭和59年	95	
7-13	下浅見文化財収蔵庫	本庄市児玉町下浅見867－11	昭和50年	310	
8-1	本庄東中学校	本庄市日の出4－2－45	昭和38年4月	6,541	
8-2	本庄西中学校	本庄市千代田4－3－1	昭和57年3月	7,858	
8-3	本庄南中学校	本庄市緑3－13－1	昭和58年3月	10,565	
8-4	児玉中学校	本庄市児玉町八幡山438	平成21年7月	9,543	
8-5	本庄東小学校	本庄市日の出1－2－1	昭和60年3月	8,657	
8-6	本庄西小学校	本庄市千代田4－3－2	昭和53年8月	6,992	
8-7	藤田小学校	本庄市牧西1171	昭和53年3月	4,271	
8-8	仁手小学校	本庄市仁手618	昭和59年3月	3,180	
8-9	旭小学校	本庄市都島78	昭和46年4月	4,771	
8-10	北泉小学校	本庄市北堀1871－1	昭和49年3月	5,201	
8-11	本庄南小学校	本庄市栄3－6－24	昭和50年5月	5,680	
8-12	中央小学校	本庄市緑1－16－1	昭和54年6月	7,409	
8-13	児玉小学校	本庄市児玉町児玉1355－1	昭和49年7月	5,784	
8-14	金屋小学校	本庄市児玉町金屋1117－1	昭和61年7月	3,734	
8-15	秋平小学校	本庄市児玉町秋山2531	平成4年2月	3,059	
8-16	共和小学校	本庄市児玉町蛭川895－1	平成元年3月	4,024	
8-17	本泉小学校	本庄市児玉町河内660	昭和59年3月	2,631	
9-1	障害福祉センター	本庄市小島南2－4－9	昭和39年3月	594	
9-2	保健センター	本庄市小島南2－4－12	昭和55年3月	1,090	
9-3	児玉保健センター	本庄市児玉町児玉391	昭和54年5月	533	
9-4	発達教育支援センター「すきっぷ」	本庄市小島5－5－45	平成22年3月	159	複合施設(9-4、10-1)
9-5	老人福祉センターつきみ荘	本庄市沼和田127－1	昭和58年5月	1,403	
10-1	いずみ保育所	本庄市小島5－5－45	平成22年4月	1,134	複合施設(9-4、10-1)
10-2	藤田保育所	本庄市牧西30	昭和49年4月	482	
10-3	金屋保育所	本庄市児玉町金屋1173	昭和53年3月	754	
10-4	久美塚保育所	本庄市児玉町児玉2351－1	平成10年2月	887	
11-1	前原児童センター	本庄市前原1－4－13	昭和55年3月	418	
11-2	日の出児童センター	本庄市日の出2－5－56	昭和59年3月	515	

施設番号	対象施設	所在地	竣工年月	延床面積（㎡）	備考
12-1	市役所	本庄市本庄3－5－3	平成4年8月	11,870	
12-2	児玉総合支所第二庁舎	本庄市児玉町児玉385	昭和53年9月	1,297	
13-1	消防団第一分団器具置場	本庄市千代田4－3－2	昭和49年10月	59	
13-2	消防団第二分団器具置場	本庄市本庄1－4－14	昭和49年3月	64	
13-3	消防団第三分団器具置場	本庄市駅南1－15－4	昭和50年10月	59	
13-4	消防団第四分団器具置場	本庄市牧西557－1	昭和44年3月	59	
13-5	消防団第五分団器具置場	本庄市久々宇171	昭和47年12月	59	
13-6	消防団第六分団器具置場	本庄市都島904－1	昭和46年10月	59	
13-7	消防団第七分団器具置場	本庄市北堀206	昭和45年8月	59	
13-8	消防団第一分団第一部器具置場	本庄市児玉町八幡山184－2	昭和54年2月	35	
13-9	消防団第一分団第二部器具置場	本庄市児玉町児玉323－2	昭和54年3月	43	
13-10	消防団第一分団第三部器具置場	本庄市児玉町児玉1882－1	平成14年2月	61	
13-11	消防団第二分団第一部器具置場	本庄市児玉町金屋81－2	昭和56年	63	
13-12	消防団第二分団第二部器具置場	本庄市児玉町高柳175－4	平成23年3月	83	
13-13	消防団第二分団第三部器具置場	本庄市児玉町飯倉208－2	平成22年3月	83	
13-14	消防団第二分団第四部器具置場	本庄市児玉町田端229	平成23年3月	83	
13-15	消防団第三分団第一部器具置場	本庄市児玉町太駄366－3	平成23年3月	83	
13-16	消防団第三分団第二部器具置場	本庄市児玉町元田365－2	平成21年12月	83	
13-17	消防団第四分団第一部器具置場	本庄市児玉町秋山2329－5	平成24年3月	83	
13-18	消防団第四分団第二部器具置場	本庄市児玉町小平881	平成23年3月	83	
13-19	消防団第五分団第一部器具置場	本庄市児玉町蛭川915－5	平成22年3月	83	
13-20	消防団第五分団第二部器具置場	本庄市児玉町上真下721－6	平成24年3月	83	
13-21	消防団第五分団第三部器具置場	本庄市児玉町吉田林107－2、6　109	平成24年3月	83	
13-22	北泉防災倉庫	本庄市北堀1824－1、1825－1、1825－6の各一部	平成23年2月	14	
14-1	西五十子市営住宅	本庄市西五十子221－1	昭和37年	618	
14-2	田中市営住宅	本庄市田中216－1	昭和41年12月	2,542	
14-3	四方田市営住宅	本庄市四方田14－1	昭和44年	4,749	
14-4	泉町市営住宅	本庄市前原1－11	昭和59年3月	4,074	
14-5	小島第二市営住宅	本庄市小島2－3	昭和62年4月	3,571	
14-6	日の出市営住宅	本庄市日の出2－6	平成2年3月	823	
14-7	小島第一市営住宅	本庄市小島1－6	平成3年1月	2,596	
14-8	東台市営住宅	本庄市東台4－3	平成6年9月	4,839	
14-9	金屋市営住宅	本庄市児玉町金屋960－2	昭和32年	1,052	
14-10	本町市営住宅	本庄市児玉町児玉303－1	昭和33年	481	
14-11	長浜市営住宅	本庄市児玉町八幡山354	昭和34年	243	
14-12	下町市営住宅	本庄市児玉町児玉2428	昭和46年2月	822	
14-13	久美塚市営住宅	本庄市児玉町児玉1447－1	昭和47年3月	1,186	
14-14	東久美塚市営住宅	本庄市児玉町児玉1543－6	昭和47年	340	
14-15	中久美塚市営住宅	本庄市児玉町児玉1435－2	昭和48年	889	
15-1	新書庫	本庄市銀座1－1－1	昭和56年8月	485	
15-2	本庄駅自由通路	本庄市銀座3－6－19	昭和62年2月	824	
15-3	本庄駅南口自転車駐車場	本庄市駅南2－1－4	平成7年8月	1,618	複合施設（5-3、15-3）
15-4	旧勤労会館	本庄市小島南1－8－4	昭和54年	504	
15-5	旧本泉保育所	本庄市児玉町元田375－4	平成3年3月	422	
15-6	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	本庄市銀座1－5－16	明治29年	811	

※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。また、複合施設は占用部の面積を表記。
※竣工年月について、複数の棟を有する施設では代表的な棟の中で築年数が一番古い棟の竣工年月を表記。
※7-7 児玉郷土資料室は、児玉公民館の一部を利用。7-8 児玉文化財整理室は、児玉公民館別館内の一部を利用。

(2)施設の立地状況

※次頁の公共施設位置図を参照。

【地域区分について】

- 地域区分は、本庄市都市計画マスタープラン等と同様に市域北側より、４つの地域（本庄北地域、本庄南地域、児玉北地域、児玉南地域）に区分しています。

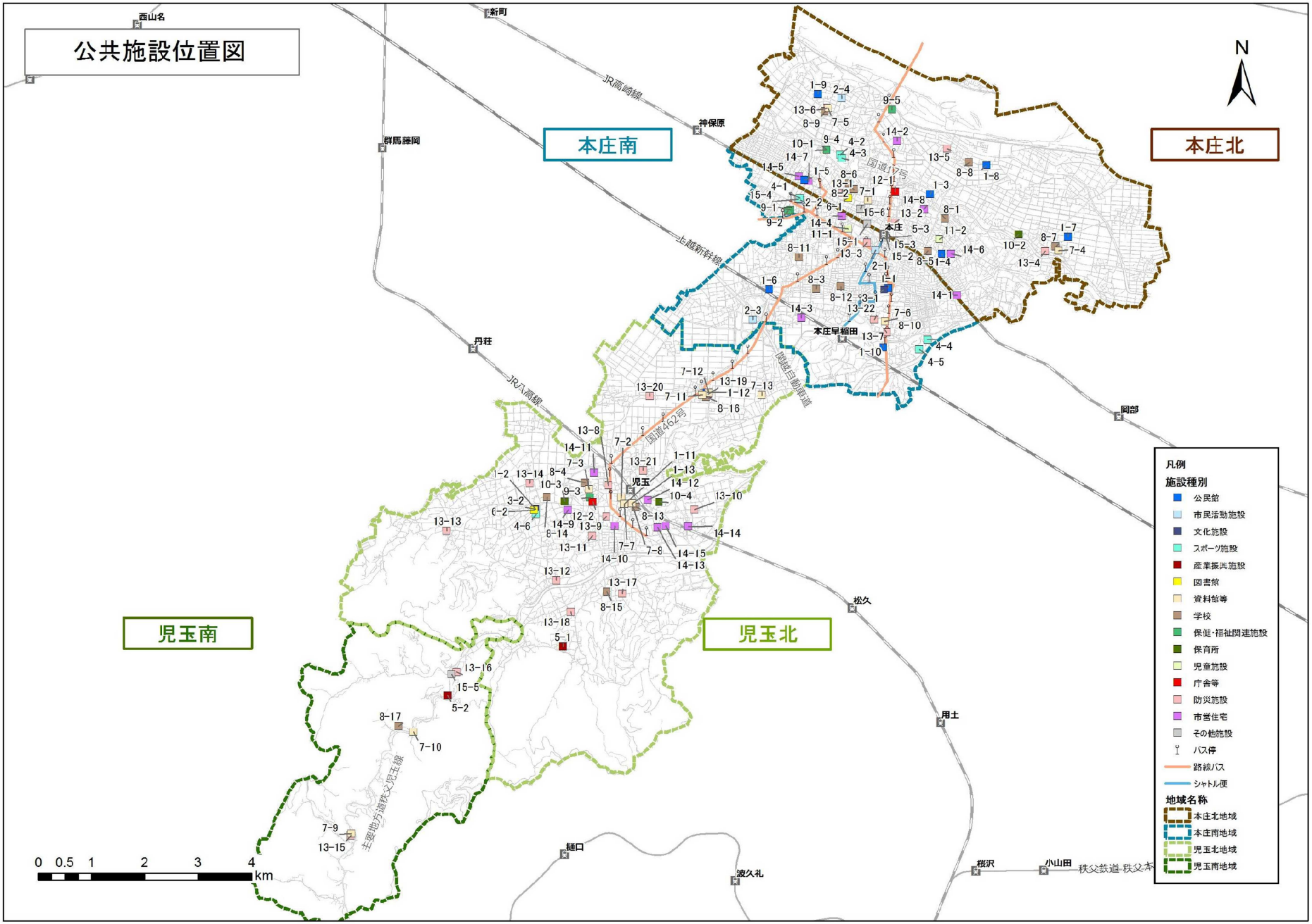
【対象施設の立地状況】

- 本庄駅（ＪＲ高崎線）、児玉駅（ＪＲ八高線）の周辺に主要な施設が集積しています。一方、区画整理により整備された本庄早稲田駅（ＪＲ上越新幹線）近隣では公共施設（市有建築物）の新設等は行われていない状況となっています。
- 公民館、学校など、地域サービスを担う施設が各地域に設置されています。
- 地域別には、特に本庄北地域、児玉北地域に多くの施設が設置されています。一方で、児玉南地域は施設数が著しく少なくなっています。

【交通機関とのアクセス状況】

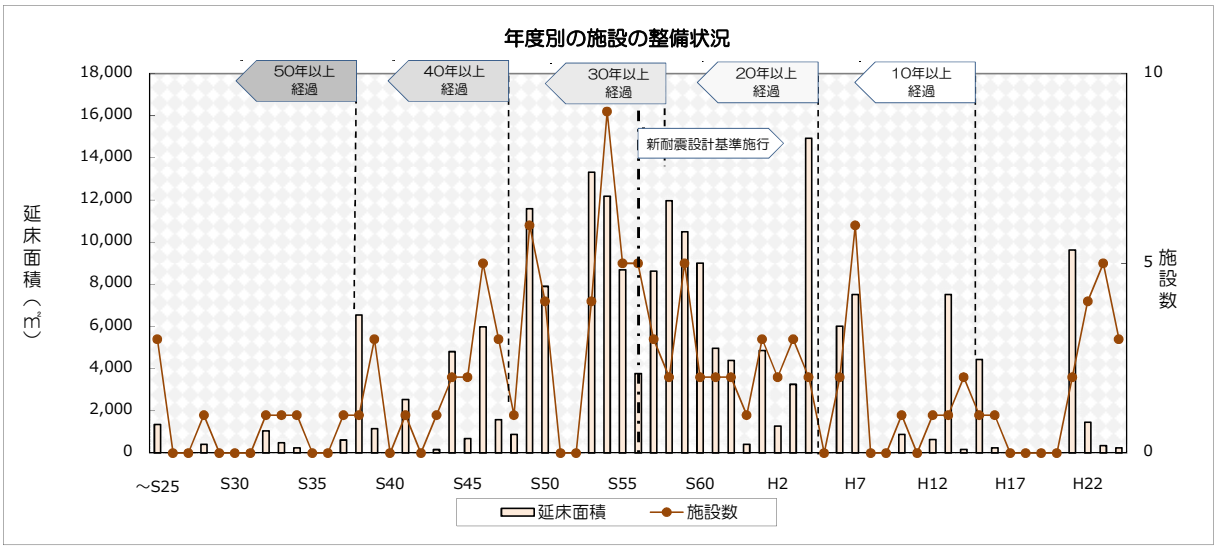
- 本庄駅、児玉駅を中心に、文化会館、図書館等の主要な市民利用施設が設置されていますが、児玉文化会館（セルディ）、本庄総合公園体育館（シルクドーム）、児玉総合公園体育館（エコーピア）は、鉄道駅からは比較的離れた位置に設置されています。
- 一部の市民利用や福祉関連施設（あさひ多目的研修センター、いまい台交流センター、老人福祉センターつきみ荘等）は、鉄道駅から離れた場所に設置されていますが、バス交通（路線バス、デマンド交通、シャトル便）により、概ね交通アクセスが確保されています。

公共施設位置図


本庄北
本庄南
児玉北
児玉南
N
凡例
施設種別
公民館
市民活動施設
文化施設
スポーツ施設
産業振興施設
図書館
資料館等
学校
保健・福祉関連施設
保育所
児童施設
庁舎等
防災施設
市営住宅
その他施設
バス停
路線バス
シャトル便
地域名称
本庄北地域
本庄南地域
児玉北地域
児玉南地域
0 0.5 1 2 3 4 km
西山名
新町
神保原
群馬藤岡
丹荘
本庄
本庄早稲田
児玉
岡部
松久
用土
樋口
波久礼
桜沢
小山田
JR高崎線
上越新幹線
JR八高線
国道462号
関越自動車道
主要地方道秩父児玉線
秩父鉄道 秩父本

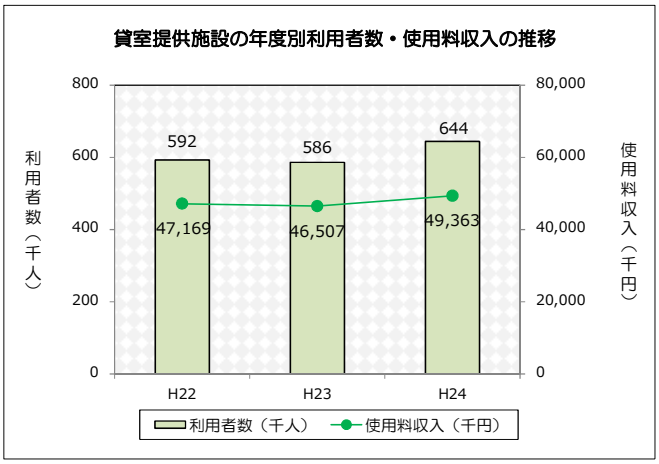
(3)施設の老朽化の状況

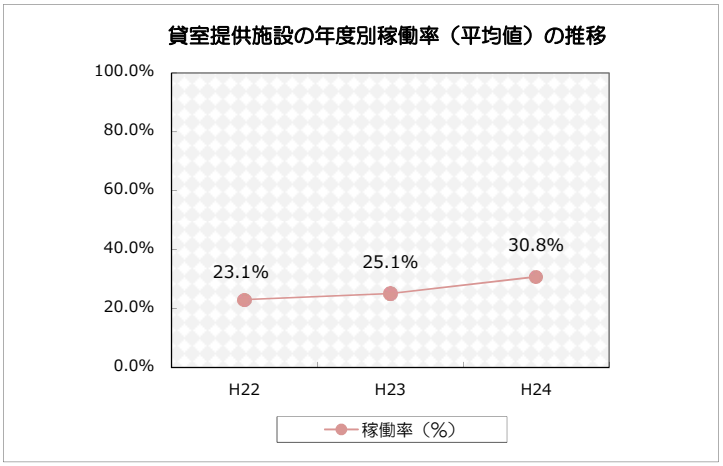
- 延床面積ベースで、築後 20 年以上を経過する施設が全体の約 80%、築後 30 年以上を経過する施設が全体の約 53%、築後 40 年以上を経過する施設が全体の約 14%を占めています。
- 新耐震設計基準施行（昭和 56 年 6 月）以前に建設された施設（58 施設）のうち、学校施設については全ての施設において耐震改修の対応が行われていますが、それ以外の施設（防災施設、市営住宅、公民館など）については、ほとんどの施設において耐震診断を行っておらず、耐震性能は不明です。



(4)施設の利用状況

- 対象施設のうち、貸室（会議室、ホールなど）を提供している施設は 27 施設となっています。（公民館、文化会館、体育館など）
- 貸室を提供している施設の年間利用者数は、約 61 万人（平成 22 年度から平成 24 年度の平均）となっており、平成 22 年度よりも平成 24 年度の利用者数が増加しています。
- 貸室を提供している施設の年間使用料収入は、約 4,800 万円（平成 22 年度から平成 24 年度の平均）となっており、平成 22 年度よりも平成 24 年度の使用料収入が増加しています。
- 貸室を提供している施設の稼働率の平均値については、約 20%～約 30%程度にとどまっています。

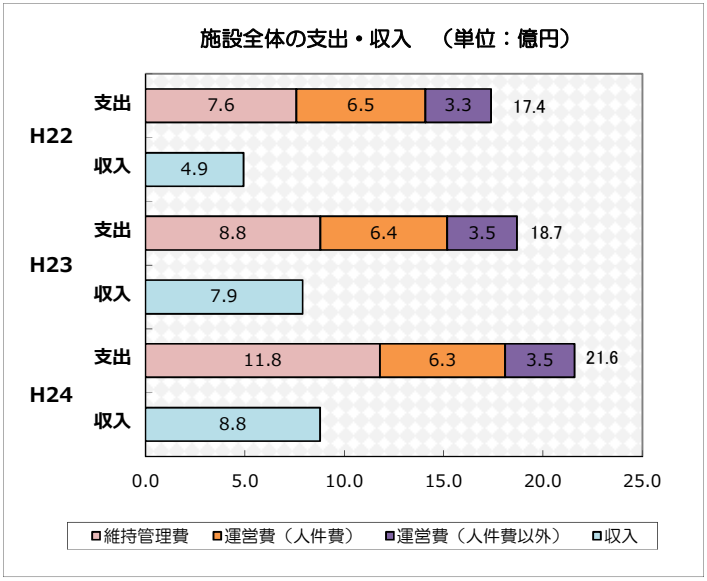




※スポーツ施設における平成 22 年度･平成 23 年度の稼働率は、実績値が不明なため対象外としています。
※本庄公民館について、平成 22 年度は旧市民プラザ内、平成 23 年度は中央公民館内での運営であったため、平成 22 年度・平成 23 年度の稼働率は対象外としています。

(5)施設の維持管理・運営の状況

- 平成 24 年度実績で、支出合計で約 21.6 億円、収入合計で約 8.8 億円であり、実質的な市の負担額は 12.8 億円となっており、支出に対して収入の占める割合は約４割となっています。
- 平成 22 年度から平成 24 年度を経年的に見ると、支出・収入とも平成 22 年度よりも平成 24 年度にかけて増加しています。



(6)管理運営主体(指定管理者制度の導入状況)

- 市の公共施設の維持管理・運営状況は、市直営（一部業務委託等を含む）が大部分となっています。
- 対象施設のうち、指定管理者による維持管理・運営が行われている施設が 10 施設あります。
  : 市民文化会館／若泉運動公園弓道場／若泉運動公園武道館／市民球場／
  本庄総合公園体育館（シルクドーム）／児玉総合公園体育館（エコーピア）／
  観光農業センター／ふれあいの里いずみ亭／インフォメーションセンター／
  老人福祉センターつきみ荘　［平成 25 年４月１日現在］

(7)低・未利用地の状況

- 公共施設の敷地や貸付地等で活用している土地（利用地）以外で、本庄市が保有している土地のうち、インフラ用地など利用用途が決まっているものや、山林・河川敷など以外の今後何らかの活用が見込める土地（低・未利用地）は行政財産では１箇所（3,445.65 ㎡）、普通財産では 40 箇所（23,593.34 ㎡）の合計 41 箇所、27,038.99 ㎡となっています。
- 1,000 ㎡以上の土地は、件数では９件で全体の約 22％ですが、面積では 17,829.76 ㎡で全体の約 66％を占めています。

＜低・未利用地の保有状況＞

区分	箇所数	面積	公有財産（土地）における割合％※
行政財産	1 箇所	3,445.65 ㎡	約 0.2％
普通財産	40 箇所	23,593.34 ㎡	約 1.3％
合計	41 箇所	27,038.99 ㎡	約 1.5％

※公有財産のうち、市が保有する土地を 1,804,462 ㎡（「H24 本庄市財産に関する調書」より）とします。

3.　施設の実態把握・分析

(1)施設種別の実態把握･分析

対象施設（116 施設）について、以下の 1)～15)の施設種別ごとに実態把握・分析を行いました。

※ 実態把握・分析に用いたデータは、平成 22 年度から平成 24 年度（各年度３月 31 日時点）の施設別調査結果に基づきます。
※ 延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記しています。また、複合施設は占用部の面積を表記しています。
※ コスト状況、利用状況（利用者数・稼働率・使用料収入等）は平成 22 年度～平成 24 年度の平均値を表記しています。
※ 稼働率・使用料収入は、貸室に係る稼働率・使用料収入を表記しています。

1）公民館

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
中央公民館	39	1,860	39,499	501	837	47,194	19%	981
児玉中央公民館	19	1,110	8,558	109	834	10,264	13%	168
本庄公民館	32	368	3,477	44	440	7,896	27%	－
本庄東公民館	24	450	4,102	52	290	14,149	21%	－
本庄西公民館	26	419	4,110	52	232	17,712	26%	－
本庄南公民館	25	508	4,884	62	354	13,795	22%	－
藤田公民館	32	399	3,939	50	576	6,834	12%	－
仁手公民館	33	369	4,006	51	629	6,364	10%	－
旭公民館	34	383	4,009	51	1,159	3,459	14%	－
北泉公民館	35	379	4,066	52	302	13,448	26%	－
児玉公民館	50	569	4,980	63	429	11,619	15%	－
共和公民館	35	402	4,181	53	599	6,979	13%	－
児玉公民館別館	43	327	1,978	25	330	6,000	12%	－

※本庄公民館については、平成 22 年度は旧市民プラザ内での維持管理・運営を行い、平成 23 年度は中央公民館内での暫定的運営であったため、平成 24 年度の稼働率のみ表記しています。
※児玉公民館別館は、旧隣保館の廃止に伴い、旧隣保館を用途変更することにより、平成 24 年度から開設しています。
※中央公民館、児玉中央公民館以外のその他の公民館の使用料は無料。

【公民館の課題】

- 大半の施設が築後 30 年以上を経過しており、耐震診断を行っておらず耐震性能が不明であることを踏まえた、施設の耐震改修の促進や大規模改修による施設の安全性の確保。
- 全ての公民館で稼働率が３割以下となっていることを踏まえた公民館の利用促進。特に、稼働率の低い児玉中央公民館、藤田公民館、仁手公民館、旭公民館、共和公民館等の利用改善。
- 地域ニーズに応じた貸室機能の一部見直し等による稼働率の向上。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた、受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。
- 平成 27 年度中に供用開始する（仮称）市民プラザ跡地複合施設への機能統合を予定している中央公民館や、同時期に供用開始する（仮称）児玉総合支所複合施設への移転を予定している児玉公民館、児玉公民館別館の跡地の活用検討。

2）市民活動施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
コミュニティセンター	34	1,081	12,497	159	326	38,312	41%	－
勤労青少年ホーム	44	624	6,837	87	432	15,837	21%	824
いまい台交流センター	14	653	5,710	72	739	7,726	61%	643
あさひ多目的研修センター	29	350	2,881	37	439	6,571	－	－

【市民活動施設の課題】

- 老朽化が進み、低い稼働率となっている勤労青少年ホームの利用改善。
- 地域ニーズに応じた貸室機能の一部見直し等による稼働率の向上。
- 児玉北地域及び児玉南地域における市民活動施設の必要性の検討。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。
- 平成 27 年度中に供用開始する（仮称）市民プラザ跡地複合施設への機能統合を予定しているコミュニティセンターの跡地の活用検討。

3）文化施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
市民文化会館	34	5,716	49,921	633	451	110,715	23%	21,266
児玉文化会館(セルディ)	19	3,158	35,165	446	929	37,834	40%	2,765

【文化施設の課題】

- 市民文化会館、児玉文化会館（セルディ）における施設規模が比較的大きいことを踏まえた施設の効率的な維持・更新。
- 市民文化会館、児玉文化会館（セルディ）における貸室機能の一部見直し等による稼働率の向上。
- 児玉文化会館（セルディ）における指定管理者制度の導入等を考慮した効率的な施設の維持管理・運営。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。

4）スポーツ施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
市民体育館	35	2,452	8,787	111	264	33,347	67%	1,693
若泉運動公園弓道場	33	256	2,918	37	553	5,280	43%	619
若泉運動公園武道館	28	1,236	9,052	115	370	24,448	33%	282
市民球場	20	1,176	9,765	124	476	20,502	25%	1,233
本庄総合公園体育館(シルクドーム)	13	7,521	59,607	756	614	97,106	76%	14,267
児玉総合公園体育館(エコーピア)	11	4,439	16,768	213	437	38,351	60%	2,645

※若泉運動公園武道館のコストには、若泉運動公園グラウンドの照明費用を含みます。
※稼働率は、平成 22 年度・平成 23 年度の実績値が不明なため、平成 24 年度の稼働率を表記しています。

【スポーツ施設の課題】

- 若泉運動公園弓道場の耐震改修の促進等による施設の安全性の確保。
- 本庄総合公園体育館（シルクドーム）、児玉総合公園体育館（エコーピア）における、施設規模が比較的大きいことを踏まえた光熱費削減等による効率的な施設の維持・更新。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。

5）産業振興施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
観光農業センター	23	248	3,506	44	435	8,057	―	1,200
ふれあいの里いずみ亭	10	249	372	5	20	18,760	―	―
インフォメーションセンター	19	318	8,396	107	1,085	7,739	38%	256

※観光農業センターの利用者数は、一般利用者数と貸室利用者（手作り体験室、研修室、バーベキュー広場）を合わせた人数。インフォメーションセンターの利用者数は、貸室利用者（多目的室）の人数。

【産業振興施設の課題】

- インフォメーションセンターにおける指定管理者の業務範囲や指定管理料の見直し等を考慮した効率的な施設の維持管理・運営。
- 本庄駅近接のインフォメーションセンターの立地条件を活かした利用促進。

6）図書館

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	貸出1点当たり(円)	貸出点数（点）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
図書館	33	2,599	99,957	1,268	461	216,797	―	―
図書館児玉分館	19	409	23,500	298	334	70,419	―	―

【図書館の課題】

- 施設規模が比較的大きい図書館の老朽化に伴う、安全性の確保や効率的な施設の維持・更新。
- 年間コストが比較的高く人件費割合が高いことを踏まえた、図書館、図書館児玉分館における指定管理者制度の導入等を考慮した効率的な施設の維持管理・運営。

7）資料館等

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
歴史民俗資料館	131	368	7,422	94	2,601	2,854	―	―
競進社模範蚕室	120	176	840	11	1,843	456	―	―
塙保己一記念館	46	166	2,464	31	579	4,256	―	―
埋蔵文化財センター	61	414	386	5	―	―	―	―
旭民具等収蔵庫	25	334	389	5	―	―	―	―
北泉小学校郷土資料室	40	63	69	1	―	―	―	―
児玉郷土資料室	50	―	32	0	―	―	―	―
児玉文化財整理室	43	―	47	1	―	―	―	―
太駄文化財収蔵庫	12	116	15	0	―	―	―	―
本泉文化財収蔵庫	35	429	29	0	―	―	―	―
蛭川文化財整理室・収蔵庫	19	302	382	5	―	―	―	―
共和文化財倉庫	30	95	33	0	―	―	―	―
下浅見文化財収蔵庫	39	310	439	6	―	―	―	―

※児玉郷土資料室は、児玉公民館の一部を利用しています。
※児玉文化財整理室は、児玉公民館別館内の一部を利用しています。

【資料館等の課題】

- 大半の施設が築後 30 年以上を経過していることを踏まえた施設の老朽化への対応。特に、利用者を有する施設（歴史民俗資料館、競進社模範蚕室）の耐震化等による施設の安全性の確保。
- 歴史民俗資料館、競進社模範蚕室は、文化財保護の観点から 30 年から 40 年サイクルでの解体修理が必要であり、両施設とも昭和 50 年代に解体修理を実施していることを踏まえた今後の解体修理の効率的な実施。
- 市内各地に分散している文化財収蔵施設の効率的な管理方法の検討。

8）学校

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	生徒・児童1人当たり(円)	生徒・児童数(人)	稼働率（%）	使用料収入（千円）
本庄東中学校	51	6,541	22,857	290	39,386	580	－	－
本庄西中学校	32	7,858	105,182	1,334	263,614	399	－	－
本庄南中学校	31	10,565	21,066	267	31,583	667	－	－
児玉中学校	5	9,543	21,406	272	34,433	622	－	－
本庄東小学校	29	8,657	190,592	2,418	240,444	793	－	－
本庄西小学校	36	6,992	13,845	176	30,882	448	－	－
藤田小学校	36	4,271	61,369	779	455,708	135	－	－
仁手小学校	30	3,180	10,136	129	137,588	74	－	－
旭小学校	43	4,771	11,644	148	31,872	365	－	－
北泉小学校	40	5,201	14,218	180	49,312	288	－	－
本庄南小学校	39	5,680	11,561	147	23,887	484	－	－
中央小学校	35	7,409	69,605	883	120,354	578	－	－
児玉小学校	40	5,784	49,132	623	100,406	489	－	－
金屋小学校	28	3,734	13,950	177	42,791	326	－	－
秋平小学校	22	3,059	32,108	407	237,835	135	－	－
共和小学校	25	4,024	12,082	153	65,661	184	－	－
本泉小学校	30	2,631	3,700	47	168,182	22	－	－

※本庄東中学校は、平成 26 年３月時点において建て替えを行っています。
※本泉小学校は平成 23 年４月より休校となっています。

【学校の課題】

- 大半の施設が築後 30 年以上経過していることを踏まえた安全性の確保や効率的な施設の維持・更新。
- 将来的な生徒数・児童数の減少を踏まえた施設の統廃合の検討。特に、休校中の本泉小学校や児童数の少ない小学校での将来的な施設のあり方の検討。

9）保健・福祉関連施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	来所者1人当たり(円)	来所者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
障害福祉センター	50	594	57,858	734	11,793	4,906	－	－
保健センター	34	1,090	122,862	1,559	7,384	16,638	－	－
児玉保健センター	35	533	4,764	60	883	5,392	－	－
発達教育支援センター「すきっぷ」	4	159	43,469	551	27,282	1,593	－	－
老人福祉センターつきみ荘	31	1,403	17,390	221	900	19,315	－	－

【保健・福祉関連施設の課題】

- 発達教育支援センター「すきっぷ」以外の４施設が築後 30 年以上を経過していることを踏まえた、施設の老朽化対策や耐震改修の促進等による施設の安全性の確保。
- 年間コストが比較的高い障害福祉センター、保健センター、発達教育支援センター「すきっぷ」における効率的な施設の維持管理・運営。
- 平成 27 年度中に供用開始する（仮称）児玉総合支所複合施設への機能統合を予定している児玉保健センターの跡地や施設活用の検討。

10）保育所

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	園児1人当たり(円)	園児数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
いずみ保育所	4	1,134	85,094	1,079	828,840	103	－	－
藤田保育所	40	482	50,040	635	781,870	64	－	－
金屋保育所	36	754	48,622	617	694,605	70	－	－
久美塚保育所	16	887	81,383	1,032	1,025,836	79	－	－

【保育所の課題】

- 藤田保育所、金屋保育所の耐震改修の促進等による施設の安全性の確保。
- 民営化等の民間活力の導入を考慮した保育所の維持管理・運営の効率化による年間コストの縮減。
- 市街化の進む本庄南地域の本庄早稲田駅周辺における保育サービス拡充の必要性の検討。

11）児童施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
前原児童センター	34	418	13,896	176	658	21,119	－	－
日の出児童センター	30	515	21,802	277	1,083	20,125	－	－

【児童施設の課題】

- 前原児童センター、日の出児童センターの耐震改修の促進等による施設の安全性の確保。
- 今後の少子化の進行を考慮した施設の効率的な維持管理・運営。

12）庁舎等

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
市役所	22	11,870	130,986	1,662	－	－	－	－
児玉総合支所第二庁舎	36	1,297	939	12	－	－	－	－

【庁舎等の課題】

- 施設規模が大きい市役所について、維持管理費の占める割合が比較的高いことから、維持管理方法や改修の効率化による維持管理費の縮減。
- 築後 30 年以上経過している児玉総合支所第二庁舎の安全性の確保。
- 平成 27 年度中に供用開始する（仮称）児玉総合支所複合施設に隣接する児玉総合支所第二庁舎の有効活用の検討。

13）防災施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
消防団第一分団器具置場	40	59	64	1	－	－	－	－
消防団第二分団器具置場	40	64	55	1	－	－	－	－
消防団第三分団器具置場	39	59	49	1	－	－	－	－
消防団第四分団器具置場	45	59	97	1	－	－	－	－
消防団第五分団器具置場	42	59	93	1	－	－	－	－
消防団第六分団器具置場	43	59	80	1	－	－	－	－
消防団第七分団器具置場	44	59	30	0	－	－	－	－
消防団第一分団第一部器具置場	35	35	481	6	－	－	－	－
消防団第一分団第二部器具置場	35	43	87	1	－	－	－	－
消防団第一分団第三部器具置場	12	61	56	1	－	－	－	－
消防団第二分団第一部器具置場	33	63	28	0	－	－	－	－
消防団第二分団第二部器具置場	3	83	76	1	－	－	－	－
消防団第二分団第三部器具置場	4	83	84	1	－	－	－	－
消防団第二分団第四部器具置場	3	83	271	3	－	－	－	－
消防団第三分団第一部器具置場	3	83	226	3	－	－	－	－
消防団第三分団第二部器具置場	5	83	91	1	－	－	－	－
消防団第四分団第一部器具置場	2	83	72	1	－	－	－	－
消防団第四分団第二部器具置場	3	83	73	1	－	－	－	－
消防団第五分団第一部器具置場	4	83	65	1	－	－	－	－
消防団第五分団第二部器具置場	2	83	69	1	－	－	－	－
消防団第五分団第三部器具置場	2	83	61	1	－	－	－	－
北泉防災倉庫	3	14	0	0	－	－	－	－

※上記消防団器具置場は、同一用途の施設。

【防災施設の課題】

- 築後 30 年以上経過している消防団器具置場（10 施設）の老朽化対応と安全性の確保。

14）市営住宅

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	入居1戸当たり(円)	入居戸数（戸）	入居率（%）	使用料収入（千円）
西五十子市営住宅	52	618	3,688	47	204,902	18	81%	－
田中市営住宅	48	2,542	7,014	89	98,794	71	95%	－
四方田市営住宅	45	4,749	10,971	139	85,709	128	96%	－
泉町市営住宅	30	4,074	9,964	126	176,882	56	97%	－
小島第二市営住宅	27	3,571	7,312	93	147,224	50	97%	－
日の出市営住宅	24	823	6,568	83	562,967	12	97%	－
小島第一市営住宅	23	2,596	8,331	106	225,157	37	100%	－
東台市営住宅	20	4,839	10,237	130	169,676	60	97%	－
金屋市営住宅	57	1,052	3,830	49	155,278	25	88%	－
本町市営住宅	56	481	915	12	60,984	15	94%	－
長浜市営住宅	55	243	1,559	20	222,690	7	91%	－
下町市営住宅	43	822	5,651	72	308,245	18	92%	－
久美塚市営住宅	42	1,186	4,080	52	218,571	19	62%	－
東久美塚市営住宅	42	340	397	5	41,052	10	97%	－
中久美塚市営住宅	41	889	2,483	31	140,519	18	88%	－

【市営住宅の課題】

- 大半の施設が築後 30 年以上経過していることを踏まえ、耐震診断による施設の安全性の確認及びその結果に対する耐震改修の要否を踏まえた安全性の確保。
- 老朽化が進み施設規模が比較的大きく施設を多く抱えていることを踏まえた、施設の効率的な維持管理。

15）その他施設

施設名称	築年数（年）	延床面積（㎡）	コスト状況（千円）	市民1人当たり(円)	利用者1人当たり(円)	利用者数（人）	稼働率（%）	使用料収入（千円）
新書庫	33	485	276	3	－	－	－	－
本庄駅自由通路	27	824	9,390	119	－	－	－	－
本庄駅南口自転車駐車場	19	1,618	15,297	194	710	21,552	－	－
旧勤労会館	35	504	6,972	88	－	－	－	－
旧本泉保育所	23	422	458	6	－	－	－	－
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	118	811	3,760	48	－	－	－	－

※本庄駅南口自転車駐車場のコストは、南口バイク駐車場及び北口駐車場の委託料を含む。

【その他施設の課題】

- 旧勤労会館における老朽化対策と耐震改修の促進等による施設の安全性確保。
- 本庄駅南口自転車駐車場における業務委託料の割合が比較的高いことを踏まえた施設の効率的な維持管理・運営。

(2)地域別の実態把握・分析

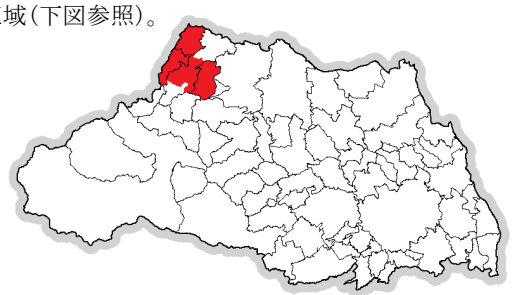
各地域単位で公共施設の配置状況や利用状況等の実態把握・分析を行うことにより、各地域における特徴・課題を抽出しました。

本庄北地域	本庄都市計画区域のうち、ＪＲ高崎線以北の地域。
本庄南地域	本庄都市計画区域のうち、ＪＲ高崎線以南の地域。
児玉北地域	児玉都市計画区域のうち、本庄市に属する区域。
児玉南地域	陣見山付近の自然公園区域及び秩父地域に隣接する都市計画区域外の区域の一帯。

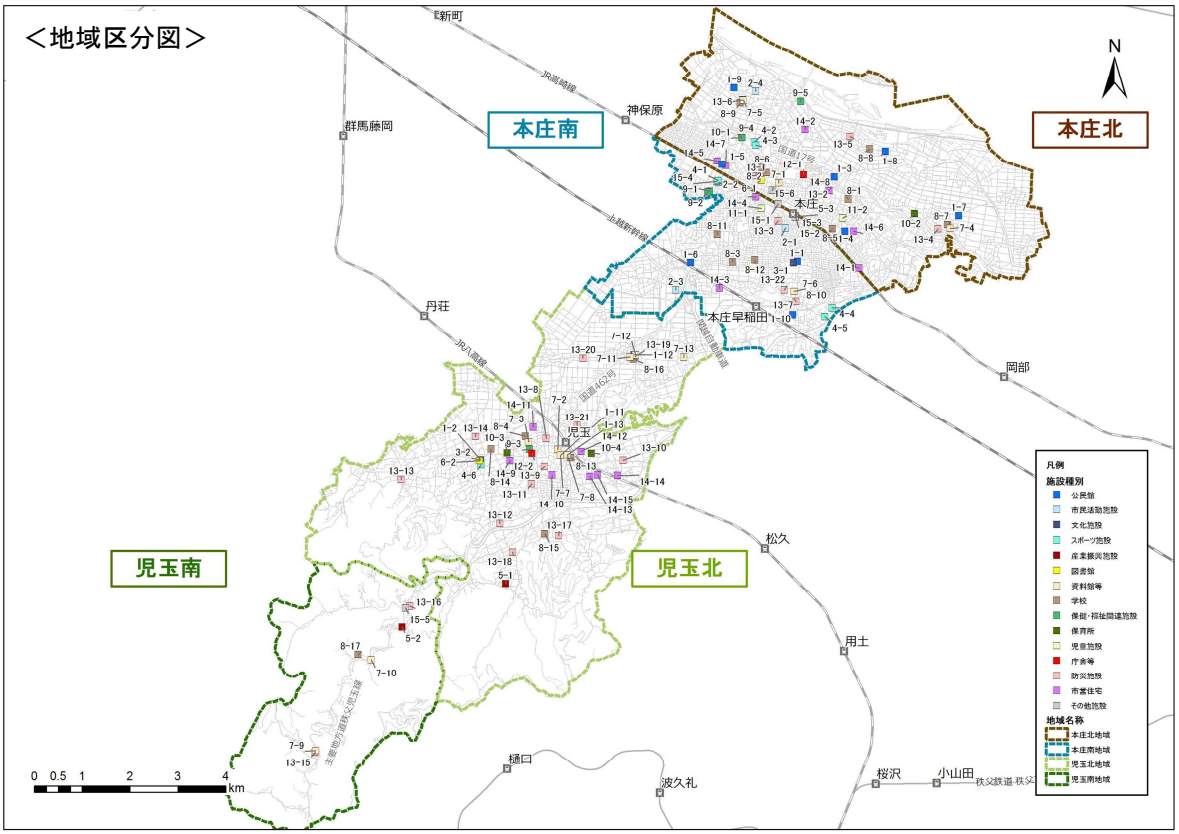
※本庄都市計画区域：本庄市の一部を範囲とする都市計画区域（下図参照）。

出典：本庄都市計画　都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（埼玉県）

※児玉都市計画区域：美里町全域、本庄市の一部、神川町の一部、上里町全域を範囲とする都市計画区域（下図参照）。



出典：児玉都市計画　都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（埼玉県）

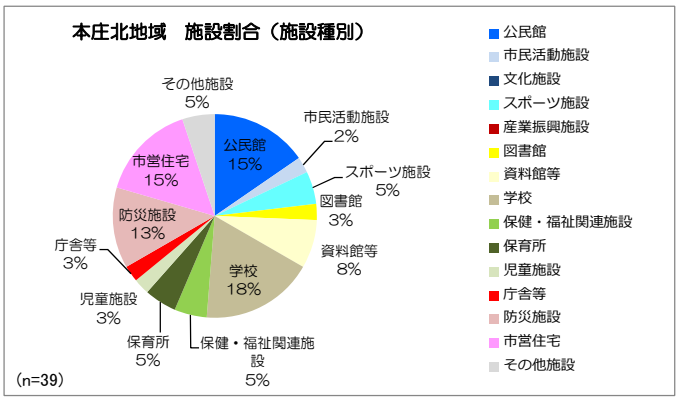


※ 実態把握・分析に用いたデータは、平成 22 年度から平成 24 年度（各年度３月 31 日時点）の施設別調査結果に基づきます。
※ 耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以降に建築された施設が「-」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」と表記しています。
※ 延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記しています。また、複合施設は占用部の面積を表記しています。

1）本庄北地域

＜地域人口（H25）と人口増減（H16→H25）＞

	本庄北地域		本庄市全体	
人口	31,278	40.1%	78,086	100.0%
世帯数	12,720	40.3%	31,544	100.0%
人口増減・増減率	−1,990	−6.0%	−2,488	−3.1%
世帯数増減・増減率	555	4.6%	2,381	8.2%



＜本庄北地域の施設概況＞

No.	施設名称	施設No.	竣工年月	築年数	耐震診断	耐震改修	延床面積［㎡］	利用者数		貸室全体の稼働率	
								H24［人／年］	H22からの増減[%]	H24［%］	H22からの増減[%]
1	本庄公民館	1-3	昭和57年3月	32	未	未	368	12,045	31.8%	26.6%	−
2	本庄東公民館	1-4	平成2年3月	24	−	−	450	13,321	−14.8%	20.8%	−1.8%
3	本庄西公民館	1-5	昭和63年3月	26	−	−	419	16,422	−18.8%	27.8%	4.2%
4	藤田公民館	1-7	昭和57年7月	32	−	−	399	7,472	23.3%	13.0%	20.8%
5	仁手公民館	1-8	昭和56年3月	33	未	未	369	6,246	4.0%	9.8%	−6.7%
6	旭公民館	1-9	昭和55年3月	34	未	未	383	3,174	−18.2%	12.8%	−18.6%
7	あさひ多目的研修センター	2-4	昭和60年3月	29	−	−	350	7,391	27.2%	−	−
8	若泉運動公園弓道場	4-2	昭和56年3月	33	未	未	256	5,348	2.7%	42.9%	−
9	若泉運動公園武道館	4-3	昭和61年3月	28	−	−	1,236	28,844	19.0%	33.3%	−
10	図書館	6-1	昭和56年7月	33	済	未	2,599	218,090	1.5%	−	−
11	歴史民俗資料館	7-1	明治16年10月	131	未	未	368	3,168	10.9%	−	−
12	埋蔵文化財センター	7-4	昭和28年5月	61	未	未	414	−	−	−	−
13	旭民具等収蔵庫	7-5	平成元年9月	25	−	−	334	−	−	−	−
14	本庄東中学校	8-1	昭和38年4月	51	済	未	6,541	−	−	−	−
15	本庄西中学校	8-2	昭和57年3月	32	済	済	7,858	−	−	−	−
16	本庄東小学校	8-5	昭和60年3月	29	−	−	8,657	−	−	−	−
17	本庄西小学校	8-6	昭和53年8月	36	済	済	6,992	−	−	−	−
18	藤田小学校	8-7	昭和53年3月	36	済	済	4,271	−	−	−	−
19	仁手小学校	8-8	昭和59年3月	30	−	−	3,180	−	−	−	−
20	旭小学校	8-9	昭和46年4月	43	済	済	4,771	−	−	−	−
21	発達教育支援センター「すきっぷ」	9-4	平成22年3月	4	−	−	159	−	−	−	−
22	老人福祉センターつきみ荘	9-5	昭和58年5月	31	−	−	1,403	−	−	−	−
23	いずみ保育所	10-1	平成22年4月	4	−	−	1,134	−	−	−	−
24	藤田保育所	10-2	昭和49年4月	40	未	未	482	−	−	−	−
25	日の出児童センター	11-2	昭和59年3月	30	−	−	515	20,436	−3.5%	−	−
26	市役所	12-1	平成4年8月	22	−	−	11,870	−	−	−	−
27	消防団第一分団器具置場	13-1	昭和49年10月	40	未	未	59	−	−	−	−
28	消防団第二分団器具置場	13-2	昭和49年3月	40	未	未	64	−	−	−	−
29	消防団第四分団器具置場	13-4	昭和44年3月	45	未	未	59	−	−	−	−
30	消防団第五分団器具置場	13-5	昭和47年12月	42	未	未	59	−	−	−	−
31	消防団第六分団器具置場	13-6	昭和46年10月	43	未	未	59	−	−	−	−
32	西五十子市営住宅	14-1	昭和37年	52	未	未	618	−	−	−	−
33	田中市営住宅	14-2	昭和41年12月	48	未	未	2,542	−	−	−	−
34	小島第二市営住宅	14-5	昭和62年4月	27	−	−	3,571	−	−	−	−
35	日の出市営住宅	14-6	平成2年3月	24	−	−	823	−	−	−	−
36	小島第一市営住宅	14-7	平成3年1月	23	−	−	2,596	−	−	−	−
37	東台市営住宅	14-8	平成6年9月	20	−	−	4,839	−	−	−	−
38	新書庫	15-1	昭和56年8月	33	未	未	485	−	−	−	−
39	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	15-6	明治29年	118	済	未	811	−	−	−	−

※No. 10 図書館の利用者数は貸出点数（点／年）を記載。

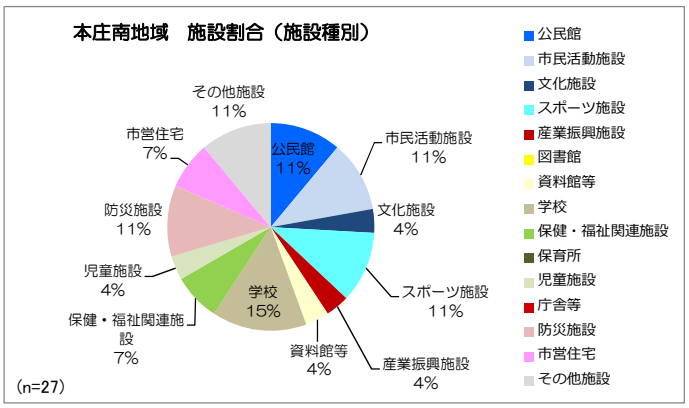
【本庄北地域の課題】

- 地震ハザードや洪水ハザードのリスクを踏まえた、避難場所内に設置されている公民館、小中学校等のうち老朽化の進む施設の安全性確保と防災機能の向上。
- 地域の人口減少や少子高齢化の進行が予想されることを踏まえた、学校施設や保育所の将来的な統廃合や保健・福祉関連施設の機能拡充。
- 地域サービスや生涯学習等の中核施設としての公民館（６施設）や市民活動施設（あさひ多目的研修センター）の老朽化対策や有効活用。

2）本庄南地域

＜地域人口（H25）と人口増減（H16→H25）＞

	本庄南地域		本庄市全体	
人口	26,167	33.5%	78,086	100.0%
世帯数	10,982	34.8%	31,544	100.0%
人口増減・増減率	485	1.9%	−2,488	−3.1%
世帯数増減・増減率	1,157	11.8%	2,381	8.2%



＜本庄南地域の施設概況＞

No.	施設名称	施設No.	竣工年月	築年数	耐震診断	耐震改修	延床面積［㎡］	利用者数		貸室全体の稼働率	
								H24［人／年］	H22からの増減［%］	H24［%］	H22からの増減［%］
1	中央公民館	1−1	昭和50年10月	39	未	未	1,860	52,479	25.6%	21.0%	26.6%
2	本庄南公民館	1−6	平成元年3月	25	−	−	508	14,477	12.9%	22.6%	4.6%
3	北泉公民館	1−10	昭和54年8月	35	未	未	379	13,482	3.1%	27.9%	14.4%
4	コミュニティセンター	2−1	昭和55年3月	34	未	未	1,081	35,605	−14.9%	41.0%	2.8%
5	勤労青少年ホーム	2−2	昭和45年3月	44	済	済	624	16,092	10.5%	20.5%	8.5%
6	いまい台交流センター	2−3	平成12年8月	14	−	−	653	7,139	−5.7%	57.5%	−1.7%
7	市民文化会館	3−1	昭和55年11月	34	済	済	5,716	113,377	4.5%	23.7%	12.1%
8	市民体育館	4−1	昭和54年3月	35	未	未	2,452	45,952	86.7%	66.7%	−
9	市民球場	4−4	平成6年3月	20	−	−	1,176	17,487	−36.6%	25.0%	−
10	本庄総合公園体育館(シルクドーム)	4−5	平成13年12月	13	−	−	7,521	103,115	10.7%	76.0%	−
11	インフォメーションセンター	5−3	平成7年8月	19	−	−	318	8,371	49.6%	41.2%	40.1%
12	北泉小学校郷土資料室	7−6	昭和49年3月	40	未	未	63	−	−	−	−
13	本庄南中学校	8−3	昭和58年3月	31	−	−	10,565	−	−	−	−
14	北泉小学校	8−10	昭和49年3月	40	済	済	5,201	−	−	−	−
15	本庄南小学校	8−11	昭和50年5月	39	済	済	5,680	−	−	−	−
16	中央小学校	8−12	昭和54年6月	35	済	済	7,409	−	−	−	−
17	障害福祉センター	9−1	昭和39年3月	50	未	未	594	−	−	−	−
18	保健センター	9−2	昭和55年3月	34	未	未	1,090	−	−	−	−
19	前原児童センター	11−1	昭和55年3月	34	未	未	418	19,800	−14.2%	−	−
20	消防団第三分団器具置場	13−3	昭和50年10月	39	未	未	59	−	−	−	−
21	消防団第七分団器具置場	13−7	昭和45年8月	44	未	未	59	−	−	−	−
22	北泉防災倉庫	13−22	平成23年2月	3	−	−	14	−	−	−	−
23	四方田市営住宅	14−3	昭和44年	45	未	未	4,749	−	−	−	−
24	泉町市営住宅	14−4	昭和59年3月	30	−	−	4,074	−	−	−	−
25	本庄駅自由通路	15−2	昭和62年2月	27	−	−	824	−	−	−	−
26	本庄駅南口自転車駐車場	15−3	平成7年8月	19	−	−	1,618	20,404	−11.6%	−	−
27	旧勤労会館	15−4	昭和54年	35	未	未	504	−	−	−	−

※No. 11 インフォメーションセンターは多目的室の利用者数を記載。

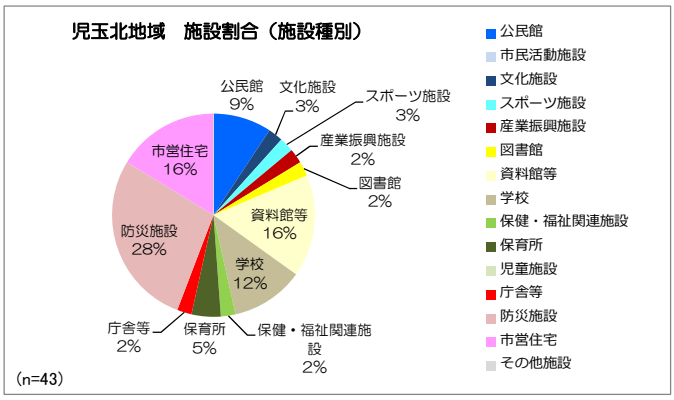
【本庄南地域の課題】

- 地震ハザードのリスクを踏まえた、避難場所内に設置されている公民館、小中学校等のうち老朽化の進む施設の安全性確保と防災機能の向上。
- 近年人口が微増傾向であることを踏まえた、子育て世代のための学校施設の安全性確保や、保育所機能の確保、及び児童施設の機能拡充等の必要性の検討。
- 将来的な高齢化の進行が予想されることを踏まえた、保健・福祉関連施設の老朽化対応や機能拡充。
- 地域サービスや生涯学習等の中核施設としての公民館（本庄南公民館、北泉公民館）や市民活動施設（勤労青少年ホーム、いまい台交流センター）の老朽化対策や有効活用。
- 市民や地域の文化活動の拠点である市民文化会館の利用促進と有効活用。
- 平成 27 年度中に供用開始する（仮称）市民プラザ跡地複合施設に機能統合を予定している中央公民館、コミュニティセンターについて、機能統合後の跡地の有効活用。

3）児玉北地域

＜地域人口（H25）と人口増減（H16→H25）＞

	児玉北地域		本庄市全体	
人口	19,793	25.3%	78,086	100.0%
世帯数	7,493	23.8%	31,544	100.0%
人口増減・増減率	−789	−3.8%	−2,488	−3.1%
世帯数増減・増減率	683	10.0%	2,381	8.2%



＜児玉北地域の施設概況＞

No.	施設名称	施設No.	竣工年月	築年数	耐震診断	耐震改修	延床面積[㎡]	利用者数 H24[人／年]	利用者数 H22からの増減[%]	貸室全体の稼働率 H24[%]	貸室全体の稼働率 H22からの増減[%]
1	児玉中央公民館	1-2	平成7年10月	19	−	−	1,110	9,822	−8.6%	12.9%	5.3%
2	児玉公民館	1-11	昭和39年2月	50	未	未	569	9,796	−17.7%	21.3%	80.0%
3	共和公民館	1-12	昭和54年3月	35	未	未	402	7,612	5.3%	14.7%	16.1%
4	児玉公民館別館	1-13	昭和46年3月	43	未	未	327	6,000	−	11.6%	−
5	児玉文化会館（セルディ）	3-2	平成7年10月	19	−	−	3,158	40,906	11.6%	39.7%	−1.7%
6	児玉総合公園体育館（エコーピア）	4-6	平成15年4月	11	−	−	4,439	39,792	7.1%	60.0%	−
7	観光農業センター	5-1	平成3年12月	23	−	−	248	9,234	47.8%	−	−
8	図書館児玉分館	6-2	平成7年10月	19	−	−	409	70,118	−1.8%	−	−
9	競進社模範蚕室	7-2	明治27年10月	120	未	未	176	604	161.5%	−	−
10	塙保己一記念館	7-3	昭和43年4月	46	未	未	166	4,707	17.4%	−	−
11	児玉郷土資料室	7-7	昭和39年2月	50	未	未	−	−	−	−	−
12	児玉文化財整理室	7-8	昭和46年3月	43	未	未	−	−	−	−	−
13	蛭川文化財整理室・収蔵庫	7-11	平成7年	19	−	−	302	−	−	−	−
14	共和文化財倉庫	7-12	昭和59年	30	−	−	95	−	−	−	−
15	下浅見文化財収蔵庫	7-13	昭和50年	39	未	未	310	−	−	−	−
16	児玉中学校	8-4	平成21年7月	5	−	−	9,543	−	−	−	−
17	児玉小学校	8-13	昭和49年7月	40	済	済	5,784	−	−	−	−
18	金屋小学校	8-14	昭和61年7月	28	−	−	3,734	−	−	−	−
19	秋平小学校	8-15	平成4年2月	22	−	−	3,059	−	−	−	−
20	共和小学校	8-16	平成元年3月	25	−	−	4,024	−	−	−	−
21	児玉保健センター	9-3	昭和54年5月	35	未	未	533	−	−	−	−
22	金屋保育所	10-3	昭和53年3月	36	未	未	754	−	−	−	−
23	久美塚保育所	10-4	平成10年2月	16	−	−	887	−	−	−	−
24	児玉総合支所第二庁舎	12-2	昭和53年9月	36	未	未	1,297	−	−	−	−
25	消防団第一分団第一部器具置場	13-8	昭和54年2月	35	未	未	35	−	−	−	−
26	消防団第一分団第二部器具置場	13-9	昭和54年3月	35	未	未	43	−	−	−	−
27	消防団第一分団第三部器具置場	13-10	平成14年2月	12	−	−	61	−	−	−	−
28	消防団第二分団第一部器具置場	13-11	昭和56年	33	未	未	63	−	−	−	−
29	消防団第二分団第二部器具置場	13-12	平成23年3月	3	−	−	83	−	−	−	−
30	消防団第二分団第三部器具置場	13-13	平成22年3月	4	−	−	83	−	−	−	−
31	消防団第二分団第四部器具置場	13-14	平成23年3月	3	−	−	83	−	−	−	−
32	消防団第四分団第一部器具置場	13-17	平成24年3月	2	−	−	83	−	−	−	−
33	消防団第四分団第二部器具置場	13-18	平成23年3月	3	−	−	83	−	−	−	−
34	消防団第五分団第一部器具置場	13-19	平成22年3月	4	−	−	83	−	−	−	−
35	消防団第五分団第二部器具置場	13-20	平成24年3月	2	−	−	83	−	−	−	−
36	消防団第五分団第三部器具置場	13-21	平成24年3月	2	−	−	83	−	−	−	−
37	金屋市営住宅	14-9	昭和32年	57	未	未	1,052	−	−	−	−
38	本町市営住宅	14-10	昭和33年	56	未	未	481	−	−	−	−
39	長浜市営住宅	14-11	昭和34年	55	未	未	243	−	−	−	−
40	下町市営住宅	14-12	昭和46年2月	43	未	未	822	−	−	−	−
41	久美塚市営住宅	14-13	昭和47年3月	42	未	未	1,186	−	−	−	−
42	東久美塚市営住宅	14-14	昭和47年	42	未	未	340	−	−	−	−
43	中久美塚市営住宅	14-15	昭和48年	41	未	未	889	−	−	−	−

※No.7 観光農業センターは一般利用者数と貸室利用者（手作り体験室、研修室、バーベキュー広場）を合わせた人数を記載。No.8 図書館児玉分館の利用者数は貸出点数（点／年）を記載。

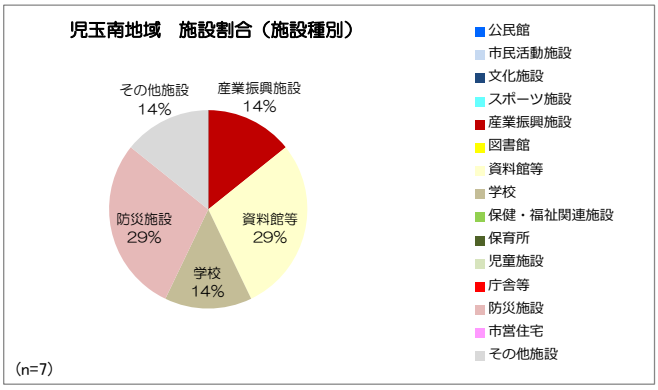
【児玉北地域の課題】

- 地震ハザードのリスクを踏まえた、避難場所内に設置されている公民館、小中学校等のうち老朽化の進む施設の安全性確保と防災機能の向上。
- 地域の人口減少や少子高齢化の進行が予想されることを踏まえた、学校施設や保育所の将来的な統廃合や保健・福祉関連施設の機能拡充。
- 地域サービスや生涯学習等の中核施設としての公民館（児玉中央公民館、共和公民館）の老朽化対策や有効活用。
- 市民や地域の文化活動の拠点である児玉文化会館（セルディ）の利用促進と有効活用。
- 平成 27 年度中に供用開始する（仮称）児玉総合支所複合施設に移転を予定している児玉公民館、児玉公民館別館、塙保己一記念館及び同施設に機能統合を予定している児玉保健センターについて、移転及び統合後の敷地の有効活用。

4）児玉南地域

＜地域人口（H25）と人口増減（H16→H25）＞

	児玉南地域		本庄市全体	
人口	848	1.1%	78,086	100.0%
世帯数	349	1.1%	31,544	100.0%
人口増減・増減率	−194	−18.6%	−2,488	−3.1%
世帯数増減・増減率	−14	−3.9%	2,381	8.2%



＜児玉南地域の施設概況＞

No.	施設名称	施設No.	竣工年月	築年数	耐震診断	耐震改修	延床面積［㎡］	利用者数		貸室全体の稼働率	
								H24［人／年］	H22からの増減[%]	H24［%］	H22からの増減[%]
1	ふれあいの里いずみ亭	5-2	平成16年1月	10	―	―	249	19,280	5.0%	−	−
2	太駄文化財収蔵庫	7-9	平成14年4月	12	―	―	116	−	−	−	−
3	本泉文化財収蔵庫	7-10	昭和54年	35	未	未	429	−	−	−	−
4	本泉小学校	8-17	昭和59年3月	30	―	―	2,631	−	−	−	−
5	消防団第三分団第一部器具置場	13-15	平成23年3月	3	―	―	83	−	−	−	−
6	消防団第三分団第二部器具置場	13-16	平成21年12月	5	―	―	83	−	−	−	−
7	旧本泉保育所	15-5	平成3年3月	23	―	―	422	−	−	−	−

【児玉南地域の課題】

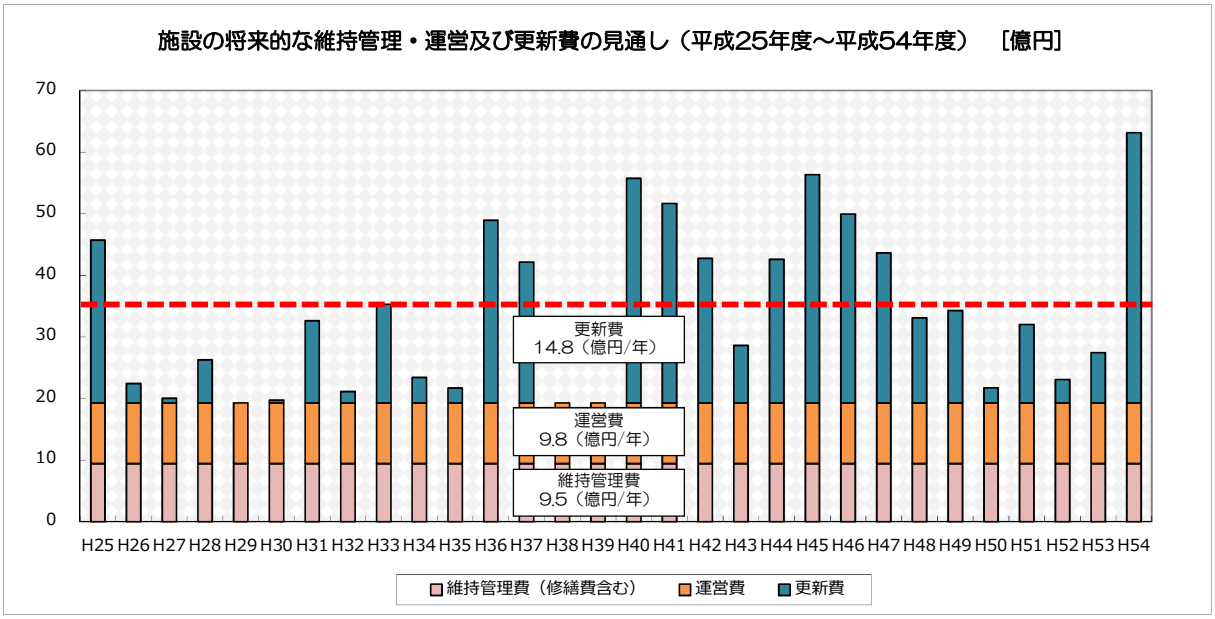
- 地震ハザードのリスクについて、地すべり危険個所を有していることを踏まえ、避難場所内に設置されている本泉小学校等の安全性や防災機能の向上。
- 地域人口が著しく少なく、近年の人口が著しい減少傾向であることを踏まえ、隣接する児玉北地域との機能連携を考慮した、地域内での生活や活動上の基盤となる機能の必要性の検討（例：公民館、市民活動施設、保健・福祉関連施設等）。
- 休校中である本泉小学校の将来的な施設のあり方の検討。

(3)施設の将来的な維持・更新に係る見通し

- 対象施設（116 施設）を将来的に維持する場合に必要となる、今後 30 年間の将来更新費は約 445 億円となり、年度平均で約 14.8 億円となります。
  - ▶ 中期財政収支見通し（平成 25 年度から平成 29 年度）の平成 29 年度の投資的経費（7 億円）を上回る金額であり、将来更新費の確保が課題になると考えられます。
- 施設の維持・更新のためのコストとして 1 年あたり約 34.1 億円が必要となります。
  - ▶ 平成 24 年度の市の歳出額（約 253 億円、普通会計）の約 13%に相当します。

◆将来経費（今後30年間の概算値）　　単位：億円

	平成25年度～平成54年度	年度平均
維持管理費	284	9.5
運営費	295	9.8
更新費	445	14.8
将来経費（合計）	1,024	34.1



※平成 25 年度以前に更新時期を迎えている施設の更新費は、平成 25 年度に計上しています。
※昭和 40 年代後半から昭和 50 年代後半に建設された施設が更新時期を迎えるため、平成 30 年代後半から平成 40 年代の将来更新費が多くなっています。
※市役所などが更新時期を迎えるため、平成 54 年度の将来更新費が特に多くなっています。

4. 公共施設の課題と今後のあり方

(1)公共施設の課題と改善の方向性

	現状と課題	改善の方向性
財政負担の縮減に向けた取り組み	● 対象施設を今後 30 年間維持する場合の将来経費の試算では、年当たり約 34.1 億円となり、大きな財政負担となることが想定されます。 ● 中期財政収支見通しでは投資的経費について平成 26 年度をピークに大きく減少が見込まれており、平成 29 年度には更新費の見通し（約 14.8 億円／年）を下回る約７億円となる見込みです。 ● 長期的な見通しとしても、今後の生産年齢人口の減少に伴う歳入の減少や、扶助費の増加に伴う歳出の増加など、厳しい財政状況になっていくことが考えられます。	▶ 施設の統廃合や長寿命化を図るとともに、PFI・PPP や指定管理者制度等の民間活力の導入や利用料金の見直し等による施設の効率的な維持管理・運営を行うことで、公共施設に係る将来的なライフサイクルコストの縮減を図っていくことが必要です。
市民の安全性確保	● 耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建築された公民館、防災施設、市営住宅などについては耐震診断・耐震改修が進んでいない状況となっています。 ● 築後 30 年以上を経過する施設が全体の約 53%、築後 40 年以上を経過する施設が全体の約 14%を占めています。 ● 特に、避難場所内に多く設置されている公民館、学校施設や、市民利用施設で比較的規模が大きい市民文化会館、図書館、保健・福祉関連施設、児童施設等において老朽化が進んでいます。 ● 一部の避難場所内に設置されている施設の中には地震・洪水ハザードのリスクが比較的高い場所にある施設や老朽化の進んだ施設もあります。	▶ 施設の利用状況や存続の検討、耐震診断結果等に基づく全体での優先度や財源等を考慮した上で、耐震改修や老朽化対策等による安全性の確保が必要です。
施設サービスの効率化と質の向上	1) 施設の利用改善や有効利用 ● スポーツ施設では、利用者数が増加傾向にあり、稼働率も比較的高くなっています。 ● 文化施設では稼働率が約４割以下と低くなっており、稼働率が著しく低い諸室も生じています。 ● 公民館では、施設や諸室ごとに差があるものの、稼働率が約３割以下にとどまっています。	▶ 各施設の老朽化の状況や利用の状況とともに、市民ニーズを踏まえ、公共施設・サービスの取捨選択を含めた優先度の検討やサービス内容の重点化の検討が必要です。 ▶ 民間ノウハウの活用等によるサービス水準の向上など、維持管理・運営の効率化によるコスト縮減とともに、利用増進やサービス向上に向けた取り組みを図っていく視点も重要です。

	現状と課題	改善の方向性
	2) 人口動向や都市構造の変化への対応 ● 近年の人口減少や少子高齢化が進んでおり、今後も人口減少・少子高齢化が進展していくことが想定されます。 ● 学校施設や児童施設については、概ね充足されています。 ● 保健・福祉関連施設については、保健センターや老人福祉センターつきみ荘等で保健・福祉サービスの提供を行っていますが、施設の老朽化が進んでいます。 ● 各地域での近年の人口動態は、本庄北地域、児玉北地域では、市全体の動向と同様に今後も人口減少が見込まれる一方で、本庄南地域では、人口が微増傾向となっています。なお、児玉南地域では、他地域と比較して人口が著しく少なく、人口減少も他地域より著しく進行しています。 ● 地域での生涯学習・余暇活動やコミュニティ拠点等としての役割を有する公民館は、児玉南地域を除く全ての地域に設置していますが、いずれの施設においても稼働率が比較的低い水準にとどまっています。 ● 学校施設においては、各地域に設置されていますが児玉南地域の本泉小学校は休校中となっており、保育所においては、市街化の進む本庄南地域の本庄早稲田駅周辺に設置されておらず、児玉南地域の旧本泉保育所は閉鎖しているなど、各地域での差が生じています。 ● 平成 27 年度中に供用を開始する本庄北地域の（仮称）市民プラザ跡地複合施設や、児玉北地域の（仮称）児玉総合支所複合施設について、導入機能も考慮の上、施設や提供サービスの機能統合や、機能統合後の施設・敷地の有効活用が求められています。	▶ 今後の少子化の進展や財源の確保等を踏まえて、学校施設や児童施設のあり方を見直していくことが必要です。 ▶ 今後の高齢化の動向や財源などを踏まえて施設における保健・福祉サービス等のあり方を見直していくことが必要です。 ▶ 各地域での将来的な人口動向や、将来的な市民・地域活動へのニーズの変化等を踏まえて、地域コミュニティ機能の強化に向けて、施設サービスのあり方を検討していくことが必要です。

(2)今後の取り組み

- この公共施設マネジメント白書をもとに、平成 26 年度に公共施設の機能や配置の見直し、施設維持や運営の効率化など、中長期的な視点に基づく最適な施設配置や提供サービスのあり方の指針となる「公共施設再配置計画」を策定していく予定です。
- 平成 27 年度以降は、公共施設再配置計画に基づいた施設の統廃合・複合利用、施設の維持管理・運営の効率化や施設の長寿命化など、個別の事業や施策を随時進めていく予定です。

本庄市公共施設マネジメント白書　概要版

（平成２６年３月発行）

（平成２７年３月一部修正）

発　行：本庄市企画財政部企画課

〒３６７－８５０１　埼玉県本庄市本庄３－５－３

ＴＥＬ：０４９５－２５－１１１１（代表）

ＦＡＸ：０４９５－２１－８４９９

ＵＲＬ：http://www.city.honjo.lg.jp/